

第5回 結晶性萌芽材料 粉末回折研究会

日時：2013年12月6日（金）
15:00~16:00

入場無料

場所：名古屋工業大学 2号館 C棟 3階 0233(F3) 講義室

講演者

泉 富士夫 名古屋工業大学客員教授

「Gnuplot によるグラフ作成機能の RIETAN-FP への導入」 に関する報告

CIF から構造精密化結果の PDF ファイルを作成するソフトの開発計画も紹介する。

【泉 富士夫 プロフィール】

粉末 X 線・中性子回折の専門家。リートベルト解析プログラム「RIETAN」の開発者。
著書：“粉末回折” 第 5 版 実験化学講座「物質の構造 III 回折」(2006)、「粉末 X 線解析の実際」
第 2 版, 中井 泉, 泉 富士夫編, 朝倉書店 (2009) ほか。

Gnuplot (ニュープロット)

2次元もしくは3次元のグラフを作成するためのコマンドラインアプリケーションソフトウェア。
インターネットにおいて無料で配布されている。
高機能なマルチプラットフォーム・ソフトであり、長年アップグレードが継続しており、
詳細な日本語解説ページが多数存在する。

RIETAN-FP (リートン - エフピー)

X 線回折や中性子回折で得られたデータを用いて結晶構造解析（リートベルト解析）を行うための専用プログラム。得られた結晶データやその後の MEM 解析で求めた電子密度は、VESTA で三次元可視化できる。インターネットにおいて無料で配布されている。

【問合せ】 井田 隆 mail: ida.takashi@nitech.ac.jp
福田 功一郎 mail: fukuda.koichiro@nitech.ac.jp